

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）復興支援 活動報告書

被災支援ボランティア団体
「おたがいさまプロジェクト」 大竹 修

神戸で出来る復興支援「写真洗浄会＆プチ防災セミナー Vol.02」が 終了しましたので、下記の通りご報告致します。

記

活動日時	2019年9月15日（日）10:00～17:00
活動場所	神戸市 青少年会館
ボランティア数	述べ36名（男性10名,女性14名 / 内 初参加13人,学生14人）
活動内容	1.写真洗浄 2.防災セミナー

【1.写真洗浄】

作業時間	7時間（10時～17時）
ボランティア数	36名（午前21名 午後15名）
受益対象者数	約25名
支援・協力団体	真備洗浄@あらいぐま岡山（機材提供、作業指導等）
詳細	※写真洗浄とは 自然災害で汚れた写真を1枚ずつ丁寧に汚れを落とすボランティア活動。 泥で汚れた写真はバクテリアが周りから侵食して白くなっていく。侵食をとめるために水・エタノール水溶液で洗浄しなくてはならない。 簡単な作業ではあるが、被災者の心に寄り添える大切な活動で、力仕事に自信がない方や、初心者には特に向いているボランティアと言える。 <活動の成果> - 被災者の思い出を守り、生きる喜びを与えることができた。 - 写真洗浄というボランティアを広めることができた。 - 作業テーブル内に経験者を配置、活動中や休憩時間などに、ボランティア同士の交流を通して、防災やボランティアの意義を感じてもらった。 【遠方でも出来る復興支援】 被災地には行けないが、復興支援ボランティアをしてみたいという希望者の声を多数聞き、本企画を立ち上げた。 活動にあたっては、写真洗浄の第一人者でもある「課題のあらいぐま」の顧問である福井圭一氏にご協力頂いた。 

【写真洗浄というボランティアを広めていく】

写真洗浄というボランティアはまだ認知度が低く、定期的に行うことで災害があっても写真を捨てられないようにSNSを含めて積極的に活動していく。

福井氏も積極的にアウトソーシングを行っており、大阪、明石、東京に拠点が広がっている。そしてその最初でもあり、防災、ボランティアに強い神戸ブランドを活かし、今後も活動を行いたいと思っている。

【子どもでも出来る復興支援】

今回も親子連れで参加し、小学生はとても熱心に写真洗浄を行っていた。復興支援活動は高校生までが対象となっている中、小学生もボランティアに参加することができるというのが写真洗浄の大きな利点である。

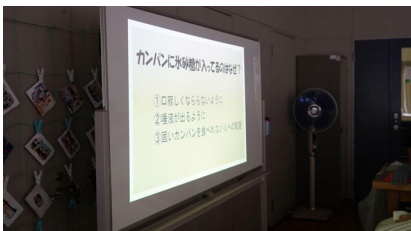
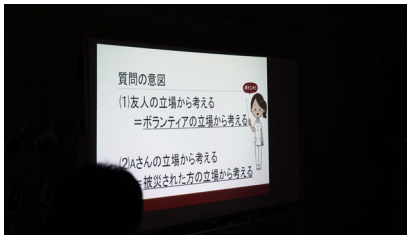


【被災地を感じられるような活動を】



セミナー中に被災地の状況と動画等で紹介、まだ復興が終わっていないこと、ボランティアが必要であることを説明。真備宛のメッセージを聞いてもらうなど、遠隔地であっても被災地を感じられるようなセミナーを演出し、参加者の意識向上に貢献した。

【2.防災セミナー】

作業時間	35分（午前10分 午後25分）
ボランティア数	2名
支援・協力団体	午前：森永 日奈子さん（神戸学院大学3年）午後：平野有香（学生メンバー）
受益対象者数	約30名
詳細	写真洗浄の合間に、ボランティア初心者向けの防災セミナーを行った。 午前：「防災クイズ」 午後：「心のケア」   < 活動の成果 > 1. 子供でもわかる内容を扱い、防災の意識を高めることができた。 2. 学生たちが主体となってセミナーを作成。学生たちに発言の場を提供、主体性などの成長を促すことができた。 

【押し付けの発表にならないために】

参加者と一緒に考えてもらえるようなグループディスカッション形式を行うことで、参加者同士の連帯感や自ら考え、理解出来るようなセミナーを行った。



【所感】

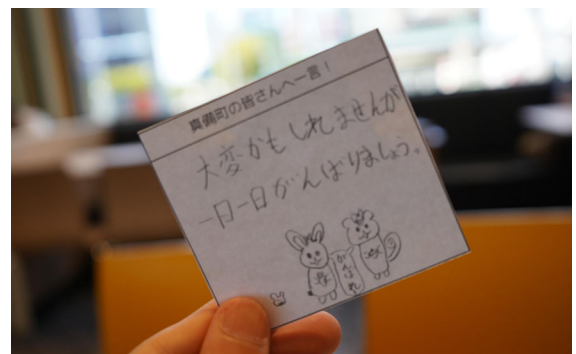
今まで現地でのボランティアツアーを行ってきましたが、「現地には行けないが、復興支援に参加してみたい」という声を沢山頂き、今回で2回目となる写真洗浄会を行いました。福島からの参加もあり、遠隔での復興支援の手応えを大きく感じています。

そして写真洗浄だけでなく、防災セミナーや現地の活動報告を行なうことで、神戸の人達に防災・ボランティアの意義を感じてもらうことができ、当団体が行っているボランティアツアーの誘致にも繋がりました。

平成30年7月豪雨から1年が経ち、復興支援の風化が始まっております。未だ復興が終わっていないことを、今回の事で知って頂き、今後も復興支援に関わってもらえるよう、引き続き活動を続けていきたいと思ひます。

<未来の子供たちの為に>

今回のボランティアでも親子連れの参加者が2組あり、子供達でもできるボランティア、そして親以外の社会人と触れ合うことで、社会性を伸ばすことが出来た大切な時間となりました。今後もこのような活動を続けていかねばならないと思っております。

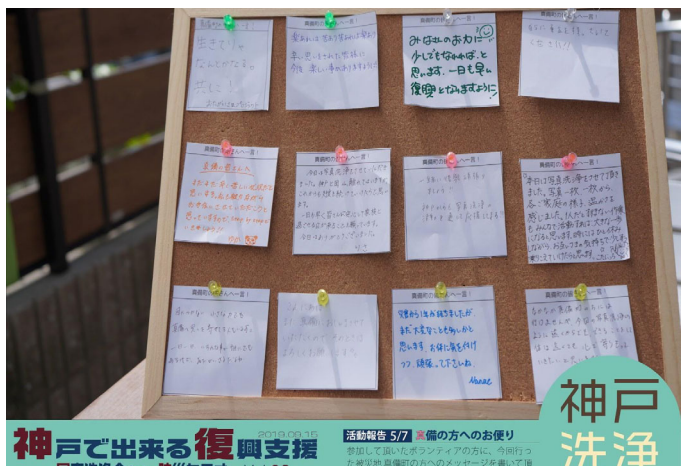


(小学生がかいてくれた真備宛のメッセージ)

<一人でも多くの方にボランティアや防災の意義を>

今回も半数以上が未経験、学生参加という理想的な形になり、復興の一助と共に、被災地の現状、ボランティア・防災の意義を感じてもらえる、十分実りのある活動となりました。

そしてただ活動をするだけではなく、被災地の方と心を交わす復興を通じて、思いやりのある社会を形成していくためにも、努力して参ります。



(ボランティアが真備に向けたメッセージ)



(Twitter以外にFBやInstagramにも掲載中)

最後にこのような機会を頂けた、真備洗浄@あらいぐま岡山様、ご寄付頂いた皆様。そしてボランティアの皆様に、心より感謝をお伝えしたいと思います。

本当に有難うございました。
おたがいさまプロジェクト代表 大竹

【今後の活動について】

10月13日・・・神戸で出来る復興支援 写真洗浄会＆プチ防災セミナー Vol.03



【参加者からの感想17件（参加者数20名（回収率85%）】

親子で参加（初参加）

「写真洗浄」はじめてでしたが、おれいにはなっているのは
びっくりした。これからもうまうとあると思いましたが、
ボランティアで体力仕事はやりたし、その足をふくこと
ができて、ほめた所でもできる。思い出しにかかわる
というのは、思ってたと思いましたが！

おこりたいたと思いましたが。



親子で参加（初参加）



このおれい体験は、きょうで、良い体験だと思いが、
またやりたいとほくは思いました。
ボランティア、いいなとも思いました。

他の人にみえたいと思いが。

20代/大学生（初参加）

初めて復興支援をやった。被災地の被害の大きさを
感じる事ができた。今後も、被災地の方々の為
になるような支援をやりたいと思った。復興支援を
友人や家族に勧めたいと思う。



30代/社会人（初参加）

どの写真も思い出が湧いてくるものばかりで、どの写真も洗浄するかどうかの
判断が難しい。

1にこの作業で、捨てる可能性があるので、自分の手には帰して
くは喜びを考えると、参加して良かったと思いが。



40代/社会人(初参加)



私は、3人とも達の写真をとても大切にしています。
時々、見返しては、思い出にひたさるのが大好きなのと、
写された写真を見て、悲しい気持ちになりました。被災された方は
むきも、つらい思いをされているだろうと、思ふに、いゝと必めて、1枚だけ
きれいにしました。自分の、何でもない、数時間、人の役にたて
たと嬉しいので、これから、ボランティアに参加しています。

40代/社会人

今日は防災セミナーなど災害についても学ぶ時間があつたので
自分自身の防災準備についての意識づけができたのでよかった。
また、参加した親子とも話せては良い交流もできたので
楽しかった。

10代/高校生(初参加)

今まで良い経験がたまりました。普通に生活しては
絶対経験できないことで得た気分にとてもなると
感じました。常盤気候としても良くて、また参加し
たいと思いました。

40代/社会人(初参加)

貴重な体験させていただき、ありがとうございました。
今日はとても充実した一日になりました。今後、様々
なボランティア活動に参加していこうと思います。

20代/社会人

地元が地元を助ける^{自然}と自然と接するはならないかなと
思います。だからこそ、相手に伝えていくことがこの写真洗浄は
大切なことだと思います。福井様から12月の行程も教えて
頂き、乾かすという作業が最も重要であることも改めて
実感しました。今回初めて神戸洗浄に参加させて頂き、
地元で気軽に復興支援に関われるとはボランティアも身近に

40代/社会人(初参加)

知人が参加された事で、写真洗浄というボランティアの存在を知り、興味
を持ちました。実際に参加してみて、本当にどこでもできる素晴らしい
ボランティアだと思いましたし、又、実際、被災地でも、被災者同士
で思い出を語り合いなから作業したりというの良いのではと思い
ました。本来、あつてはほしくない災害ですが、もし水没してしまってもあき
らめずすぐに捨ててしまふ事のないうちが被災地でもあります。



20代/学生

何度か写真洗浄をさせて頂いたことがあり、神戸で定期的に実施される
ことはとてもいいなと思いました。現地でなければできない復興支援が実
際を知ることになったのもいいなと思いました。セミナーも防災やいの
りについて身近に感じて、考えることができていい機会でした。これから
活動のために何が必要かいいなと思いました。

10代/学生(初参加)

初めて参加して、2011.3.11の時、大きな地震が
あったのが、写真を2枚見て、1枚も、2枚も、3枚も、
3.11の時、写真が被災者に会った、その写真は、その人が
いるので、その人に会えたら、見せてあげたいなと思います。
参加して良かったです。

10代(初参加)

真備をつら前書き聞かせていた感じで、そこで知ったシネカで神戸で
参加できるのってすごい人とか復興支援に関わっている人
と話をした。思いが「写真」を撮るというエッセンスも感じることが
できる。写真を通して写真の一つでも撮ることができるといい。あ
ま、参加したい。

心のケア。話が高校生にも分かりやすく良かった。です。
写真洗浄はやはり時間が掛かるなと感じました。
あと集中力が必要だと思いました。もしあれば、もっと長時間を
写真洗浄に当てたいです。



20代(初参加)



シネカ 神戸で 参加できるのって
助かります。

8月4日(土) パナソニック・ホールで 開催された
「復興支援」の第1回開催式に
参加しました。次回は、神戸市で
開催される予定です。

20代/大学生(初参加)

写真洗浄は今回が2回目だった。初めてのリサイクルの洗浄をさせて頂き、
これはいいものを見つけた。とても嬉しかった。真備に「お礼」が
ある。今回の開催はセミナーと洗浄会に参加していることと
復興支援の輪が、もっと広がってほしい。良いことだと思います。



40代/社会人(初参加)

復興支援ボランティアには、自身初参加がお互い
に助け合いの重要性を強く感じた。被災に
向けた自助・共助の必要性、地域コミュニティの
確立を目指す共助のupが今後必要であると
感じた。



40代 / 社会人 (初参加)



この活動を知りたかったのは？ と思い。うきと 参加希望が 更に増えると思っ。つたして、今もつたして、次々に増えたい。ステキな感じ。関係がきこえ、あつた。あつた。

20代 / 大学生 (初参加)

ボランティアに初めて参加した。参加者のみんなと一緒に活動。楽しかった。写真洗浄は工程が多く大変な作業だと感じた。参加して誰かの役に立てたかと思ってる。今後の積極的なボランティア参加にしたいと思ってる。ありがとうございました。



10代 / 学生



神戸写真洗浄のおにが、さまプロジェクトとして、第1回目の神戸洗浄で活動ができて大変嬉しかったです。現地にいかなくても、支援をすることができるため多くの人にも知ってもらいたいです。佐賀県や千葉県なども大きな被害を受けていて、写真を捨ててしまう人もいます。この活動を広めていくことが今後の課題だと思いました。

50代 / 社会人

神戸の他、他にも被災地の参加出来る復興支援の場が誕生したことも により 嬉しい 思います。 今 可能な限り参加して、いたいです！
そして... 学生さん達の皆さん 本当に頼もしいですね!!
若い方々の力、更に 期待しています。

